

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスフォーリーフ			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 13日		～	令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 13日		～	令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や興味関心を尊重し、主体性を大切に した支援を行っている点	・個々の特性やその日の様子を踏まえた活動設定を行っている ・選択肢を提示し、自ら選んで参加できる環境づくりを意識している ・成功体験につながるよう活動の難易度や関わり方を調整している ・日々の振り返りを通して支援方法の見直しを行っている	・支援の根拠や意図をより明確化し、職員間で共有する仕組みを強化する ・専門的視点を取り入れたアセスメントの充実を図る ・主体性をより引き出すための活動プログラムの体系化を進める
2	子どもが安心して過ごせる環境づくりを大切にしている点	・見通しを持てる一日の流れを意識した環境設定を行っている ・子どもの特性に応じた声かけや関わり方を職員間で統一している ・落ち着いた過ごせる空間づくりや刺激量への配慮を行っている ・安心できる人間関係の構築を重視し、信頼関係づくりを丁寧に行っている	・環境調整の視点をより専門的に整理し、支援に活かす ・子どもの安心感につながる関わり方を職員間でさらに共有する ・安全面・心理面の両面から安心できる空間づくりを見直す
3	長期休暇を含め、社会参加や体験活動を積極的に取り入れている点	・季節行事や地域資源を活かした体験活動を計画的に実施している ・買い物体験や外出活動など、社会性や自立につながる機会を設けている ・活動前後に振り返りの時間を設け、学びや気づきを大切にしている	・活動の目的やねらいをより明確にし、支援との関連性を整理する ・地域との関わりを安全面に配慮しながら段階的に広げる ・体験活動の成果を共有できる機会を設ける

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動の様子や支援の意図を十分に伝えきれていない部分がある	・日々の支援に重点を置く中で、発信内容の整理や表現に十分な時間を確保できていなかった ・活動の目的や支援の意図を文章で分かりやすく伝える仕組みが十分でなかった	・ホームページやお便りを活用し、活動のねらいや様子を具体的に伝える ・写真や記録を整理し、日常の姿が伝わる発信方法を検討する ・保護者からのご意見を踏まえ、情報共有の方法を定期的に見直す
2	防災訓練や安全管理の取組について、詳細な発信が不足している	・訓練や安全対策は実施しているものの、発信方法の工夫が足りなかった。 ・日常的な安全配慮が当たり前となり、改めて発信する視点が不足していた	・避難訓練の実施内容や目的を分かりやすく発信する ・安全対策の取組を定期的にホームページ等で紹介する ・訓練後の振り返りや改善点も共有し、透明性を高める
3			